

「こんな涙は、はじめてだ!」
2003年度、全米マスメディアの心を
最も震わせた映画。

“アカデミー賞確実”……13誌

“最高傑作”……11誌

“最高の演技”……13誌

“驚くべき脚本”……11誌

“絶賛”……23誌

もうひとつの「スタンドバイミー」を見るために、
あなたは大人になった。

ショーン・ペン

ティム・ロビンズ

ケビン・ベーコン

ローレンス・フィッシュバーン

マーシャ・ゲイ・ハーデン

ローラ・リニー

クリント・イーストウッド監督作品

ミステック・リバー

ワーナーブラザーズ映画配給・ピレッジ・ロードショー・ピクチャーズ・NPVエンターテインメント提携・マルバソプロダクション制作

ショーン・ペン・ティム・ロビンズ・ケビン・ベーコン・ローレンス・フィッシュバーン・マーシャ・ゲイ・ハーデン・ローラ・リニー

“MYSTIC RIVER” 編集 ジョエル・コックス 美術 ヘンリー・バムステッド 撮影 トム・スターン 製作総指揮 ブルース・バーマン

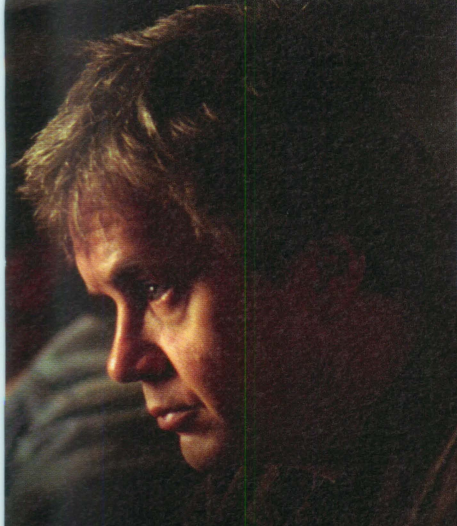
製作 ロバート・ローレンツ 執導 ジュディ・G・ホイト/クリント・イーストウッド

デニス・ルヘインの原作に基づく 脚本 ブライアン・ヘルゲランド 監督 クリント・イーストウッド

www.warnerbros.co.jp 原作: ハヤカワ文庫刊

MYSTIC RIVER

ひとつの殺人事件が幼いころのともだちを再び結びつける。ひとりとは刑事として、ひとりとは容疑者として、ひとりとは被害者の父として。



「ショーシャンクの空に」

ティム・ロビンズ



「I am Sam アイ・アム・サム」「デッドマン・ウォーキング」

ショーン・ペン



「激流」「スリーパーズ」

ケビン・ベーコン

「今年、もっともアカデミー賞の近くにいる映画」 本年度、全米マスメディアの心をもっとも震わせた“涙”を あなたは、どう受け止めますか？

“アカデミー賞確実”

13誌

“最高傑作”

11誌

“最高の演技”

13誌

“驚くべき脚本”

11誌

“絶賛”

23誌

全米で巻き起こる絶賛の声。アカデミー賞最有力候補とも目されるクリント・イーストウッドの監督最新作「ミスティック・リバー」は、心に傷を抱えて大人になった少年たちの、衝撃的な悲劇を正面から描ききり、胸に焼きつく深い感動を生み出した本物の傑作だ。3人の幼なじみの少年たちが子供時代に体験した忌まわしい誘拐事件。1人が車で連れ去られ、2人はそれを見つめるしかなかったその日、彼らの少年時代は終わりを告げた。

25年後、大人になった3人は、悲惨な殺人事件を通して再び出会うことになる。1人は娘を殺された父親として、1人は刑事として、そしてもう1人は、容疑者として――。

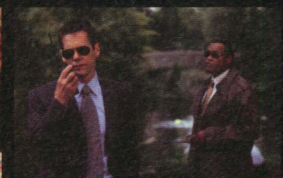
原作は、全米でベストセラーとなり、日本でもベスト・ミステリーとして話題を呼んだデニス・ルヘインの同名小説。クリント・イーストウッドは、最初に読んだ瞬間にこの作品の映画化を決意したという。殺人事件の謎解きを超えて心を揺さぶる登場人物たちの痛ましいまでの悲しみと、それを生き抜く力強い物語が、名匠イーストウッドを捉えたのだ。

物語の深みに降り立つために、イーストウッドは、これ以上も、これ以外もあり得ない完璧なキャストを招集した――ショーン・ペン、ティム・ロビンズ、ケビン・ベーコン。競演を思うだけで鳥肌が立つ錚々たる顔ぶれだ。いずれ劣らぬ実力派が、その才能と魅力を残憾なく発揮した奇跡のアンサンブル。ショーン・ペンの激情が、ティム・ロビンズの苦悩が、ケビン・ベーコンの葛藤が、スクリーンを席卷する！
ロスト・イノセンス――子供時代の無邪気さや、少

年時代の友情に、人はいつしか別れを告げる。しかし、彼らにとって、それは忌まわしい略奪の記憶でしかない。

奪われた子供時代ゆえの苦悩、葛藤、嘘、秘密……。25年後の殺人事件が、彼らの心の闇をあぶりだし、疑惑を呼び、悲劇を生む。

苦く、悲しく、しかしそれゆえに生きていく力強さに満ちた、もうひとつの「スタンド・バイ・ミー」がここにある。今、初めての涙にあなたは出会う。



クリント・イーストウッド監督作品

ミスティック・リバー

1月10日(土)より